

令和7年12月16日
こども青少年・教育委員会
こども青少年局

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく令和6年度の実施状況について

趣旨

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づき、
「横浜市地球温暖化対策実行計画」に位置付けられた基本方針のうち、
こども青少年局が関連する取組、基本方針6（市役所の率先行動）及び
基本方針7（気候変動の影響への適応）について令和6年度の主な取組
を報告します。

1 指標の進捗状況（基本方針6）

基本方針6 市役所の率先行動

- ・2023(令和5)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比28.6%減の0.47万トン
- ・2024(令和6)年度のエネルギー消費量は、2013年度比21.1%減の99TJ

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

() 内は削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO ₂]	0.66	0.50	0.51	0.47 (▲28.6%)	—
エネルギー消費量[TJ]	126	107	110	97 (▲21.1%)	

【参考】

温室効果ガス排出量の削減率(基準年度比) 市役所全体: ▲13.7%

エネルギー消費量の削減率(基準年度比) 市役所全体: ▲9.2%

- ・2024(令和6)年度は、新たに1施設で太陽光発電設備を導入し、導入施設は4施設
- ・2024（令和6）年度のLED等高効率照明の導入率は、2023（令和5）年度比5P t増の57%
- ・2024（令和6）年度の次世代自動車等の導入率は、2023（令和5）度比10P t増の67%

<対策の取組状況>

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
太陽光発電設備の導入	3施設	3施設	3施設	4施設
LED等高効率照明の導入	47%	49%	52%	57%
一般公用車における次世代自動車等導入	40%	52%	57%	67%

【参考】

太陽光設備設置済施設の導入割合 市役所全体:49%、こども青少年局:20%

LED等高効率照明の導入割合 市役所全体:55%

一般公用車における次世代自動車等導入割合 市役所全体:46%

2024年度の次世代自動車等の台数 14台 (EV:1台、PHV:0台、FCV:1台、HV:12台)

【職員の取組】

- ・会議及び打合せにおいて、プロジェクトやディスプレイを活用することで、ペーパーレス化の推進に取り組みました。
- ・全職員を対象とした環境研修を受講し、温暖化対策の取組に対する理解促進を図りました。
- ・「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」に基づき、グリーン購入の推進に取り組みました。

2 2024(令和6)年度の主な取組（基本方針7）

基本方針7 気候変動の影響への適応

3 熱中症・感染症等分野の適応策の推進

- 保育・教育施設における暑さ対策として、ガイドラインを改訂し、「熱中症予防のための指標」や「横浜市防災情報Eメール」などの情報を更新しました。また、子どもが脱水状態になりやすいことについて説明を追記し、市内1,833施設に周知、注意喚起を行いました。
- 児童福祉施設（児童養護施設、障害児入所施設等） 77か所、障害児通所支援事業所等 800か所及び放課後児童健全育成事業所 571か所に対し熱中症への注意喚起メールを送付しました。
- 放課後キッズクラブでは一部事業所でエアコンの更新・増設を実施しました。



熱中症対策をしながら保育を行う様子